

平成26年度第2回豊後大野市地域公共交通会議 及び 第2回豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成26年11月21日（金）午前10時00分～

場所：豊後大野市役所 5階 第一委員会室



I. 開会

事務局：皆さま、お忙しい中、本日の会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
ございます。

ただ今より、平成26年度「第2回豊後大野市地域公共交通会議」と「第2回
豊後大野市地域公共交通活性化協議会」を始めさせていただきます。

本日は最後まで宜しくお願いいたします。

それでは開会に先立ちまして、会長より挨拶を申し上げます。

II. 会長あいさつ

会長：豊後大野市副市長の赤嶺でございます。

本日は、ご多忙のところ、本協議会にご出席いただきありがとうございます。

さて、豊後大野市のコミュニティバスも、関係される多くの方々のおかげで、
少しずつですが、利用は増加傾向でございます。

今後、さらなる効率的な運行及び利用者ニーズに合った運行を行うために、様々
な見直しを行ってまいりたいと思いますので、皆さま方のご審議のほど、何卒

宜しく願いいたします。

どうぞこれからも、豊後大野市公共交通の活性化にご協力をお願いいたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。

事務局： それでは報告事項に移りたいと思います。

Ⅲ. 報告事項

(1) コミュニティバス、あいのりタクシーの利用状況について

(2) 大人の社会見学について

事務局： 資料説明（省略）

会長： それでは、今の説明につきまして、ご意見ご質問ありましたらお願いします。

特にないようですので、次の議題に移りたいと思います。

Ⅳ. 議題

(1) 豊後大野市コミュニティバス朝地地区 運行内容の見直し案について

事務局： 資料説明（省略）

会長： それでは、今の説明につきまして、ご意見ご質問ありましたらお願いします。

辻氏（下郡委員代理）： 郷野線の廃止など、路線バスの再編を予定されていますが、バス会社との調整状況はどのようになっていますか。

高寄委員： 路線バスは利用減少が続いていますので、路線を新たに増やすということは難しい状況にあります。今後、今の規模をある程度維持しながら、今回の再編についても、豊後大野市、竹田市と協議しながら検討を進めてまいりたいと思います。

1点、乗り放題チケットの話が出ておりますが、利用が増えることを前提として検討いただきたいと思います。あくまで、実証実験的な位置付けで、採算を見ながら実施していただきたいと思います。また、大分バスや九州産交バスなども同じ路線を運行していますので、これらのバスで利用しようと間違わないように、事前の告知などお願いできれば、と思います。

中菌委員： 豊後大野市と竹田市をまたぐ渡り路線になりますので、十分に事前調整をお願いできれば、と思います。

事務局： 竹田市とも十分協議を行い、路線バスの通学利用については教育委員会、また県補助については大分県とも協議を行うなど、関係者と慎重に進めてまいりたいと思います。

坂本委員： コミュニティバスと路線バス両方使える乗り放題チケットは、少し難しいのではないかと、思います。コミュニティバスに限定した方がいいかと思えます。それから、コミュニティバスについては、回数券が便利なので、購入促進を行

うことも検討いただければ、と思います。

事務局：コミュニティバスの回数券について、今後、PRを積極的に行うとともに、運転士にも回数券の販売促進について声かけしたいと思います。

坂本委員：それから、コミュニティバスの運賃について、200円はもっと上げてもいいのではないかと、という声もあります。300円くらいであれば、大丈夫なのではないかと、と思います。

会長：他にございませんか。無いようでしたら、この朝地地区の見直しの考え方に賛同いただける方は拍手により承認願います。

一 同：承認

神品委員：途中で退席させていただく関係で、2点申し上げたいと思います。1つは、P48にあります「免許取得制度」についてですが、運転士不足ということでは、バスもタクシーも同様の状況ですので、人選に関しましては、十分に事前協議させていただき、慎重に進めていただくようお願いしたいと思います。2つ目は、議題の3つ目にバス停コンテストのお話がありますが、是非、運転士の表彰についても検討をお願いしたい、と思います。

(2) 豊後大野市コミュニティバス運行内容の変更について

事務局：資料説明（省略）

会長：それでは、今の説明につきまして、ご意見ご質問ありましたらお願いします。無いようでしたら、この変更内容に賛同いただける方は拍手により承認願います。

一 同：承認

(3) 豊後大野市バス停コンテストの実施について

事務局：資料説明（省略）

会長：週1回運行の路線と週2回運行の路線などがあって、利用データで表彰するとしたら、不公平になるのでは、と思いましたが、いかがですか。

事務局：1運行日平均の利用者数で評価しますので、公平性は確保しております。それから、先ほど神品委員からご提案のありました、運転士の表彰に関しましては、第3回の協議会に向けて検討してまいりたいと思います。

衛藤委員：角門が2年連続1位ということで、変わり映えしないのではないかと、思いましたが、週2回運行が週4回運行に変更した中で、利用数は落ちているものの、1位をキープしているということは、よく頑張っていると思います。表彰にあたっては、そのあたりのことがきちんと分かるような工夫ある表現をお願いできれば、と思います。

事務局：角門以外の地域についても、運転士から利用の呼びかけをしてもらうなど、バ

ス利用の機運を高めるような動きも考えてまいりたいと思います。

また、利用満足度の高いバス停についても、現段階では、ロータリーのバス停などが候補に考えられますが、それはそれで、九電様の日々のご対応があつてのことだと評価すべきと思いますが、変わり映えしないというご意見に対して、次回の協議会に向けて、再度検討したいと思います。

会 長：他にございませんか。無いようでしたら、このバス停コンテストの実施に賛同いただける方は拍手により承認願います。

一 同：承認

V. その他

会 長：その他何かご意見ございますか。

神志那委員：自治会からのご提案ですが、犬飼や千歳から緒方の市民病院への直通バスがありませんので、今後検討をお願いできれば、と思います。

事 務 局：今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

次回の協議会ですが、1月と3月に予定しています。残り2回になりますが、引き続き宜しく願いいたします。

VI. 閉会

事 務 局：以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上

委員出欠名簿

平成26年度「豊後大野市地域公共交通会議」及び「豊後大野市地域公共交通活性化協議会」
第2回 出席者名簿

日時：平成26年11月21日 10時00分より

場所：市役所5階 第一委員会室

(敬称略、順不同)

	氏名	所属等	出欠	代理出席者	
				職名	氏名
会長	赤嶺 謙二	行政機関(市) 豊後大野市副市長	○		
副会長	神志那 正	住民代表 豊後大野市自治会連合会会長	○		
委員	坂本 栄喜	豊後大野市コミュニティバス関係者 豊後大野市コミュニティバス運営協議会会長	○		
委員	廣瀬 高博	行政機関(県) 大分県豊肥振興局地域振興部部長	欠		
委員	大澤 藤和	行政機関(県) 大分県豊後大野土木事務所所長	代	企画調査課課長	後藤 昭彦
委員	堤 政樹	行政機関(警察) 大分県豊後大野警察署交通課課長	代	交通係長	後藤 栄徳
委員	脇 紀昭	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体(バス)) 社団法人 大分県バス協会 専務理事	○		
委員	高寄 和弘	一般旅客自動車運送事業者(バス) 大野竹田バス株式会社取締役社長	○		
委員	神品 雄一	一般旅客自動車運送事業者(タクシー)、組織する団体(タクシー)、乗務員 有限会社三重タクシー代表取締役	○		
委員	大島 幸生	運転手が組織する団体 大野竹田バス株式会社	○		
委員	渡辺 信夫	鉄道事業者 九州旅客鉄道株式会社大分支社総務企画課運輸担当課長	○		
委員	芦刈 憲司	地元経済団体 豊後大野市商工会 会長	代	事務局長	羽田野隆敏
委員	真部 直廣	行政機関(市) 豊後大野市教育委員会教育総務課長	○		
委員	後藤 和吉	行政機関(市) 豊後大野市高齢者福祉課	○		
委員	羽田 勲誠	行政機関(市) 豊後大野市社会福祉課	○		
委員	衛藤 一郎	行政機関(市) 豊後大野市建設課長	○		
委員	藤元 篤夫	行政機関(市) 豊後大野市まちづくり推進課長	○		
委員	大井 尚司	大分大学経済学部経営システム学科 准教授	○		
委員	下郡 譲治	九州運輸局大分運輸支局首席運輸企画専門官	代	運輸企画専門官	辻 美貴善
委員	中菌 裕蔵	九州運輸局大分運輸支局首席運輸企画専門官	○		

事務局	足立 建士	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係長
事務局	古庄 英之	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係